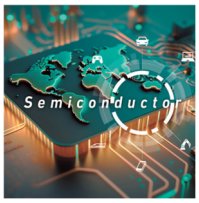
三井住友トラスト・アセットマネジメント

販売用資料

2026年10月27日




# ファンドレポート
## 半導体関連 世界株式戦略ファンド《愛称：半導体革命》
# 足元の運用状況と今後の見通し（2026年7－9月）

「半導体関連　世界株式戦略ファンド《愛称：半導体革命》」（以下、当ファンド）について、主要投資対象ファンドの実質的な運用会社であるマニュライフ・インベストメント・マネジメント（US）エルエルシー（以下、マニュライフ・インベストメント・マネジメント）の見解のもと、足元の運用状況と今後の市場見通しについてご説明します。

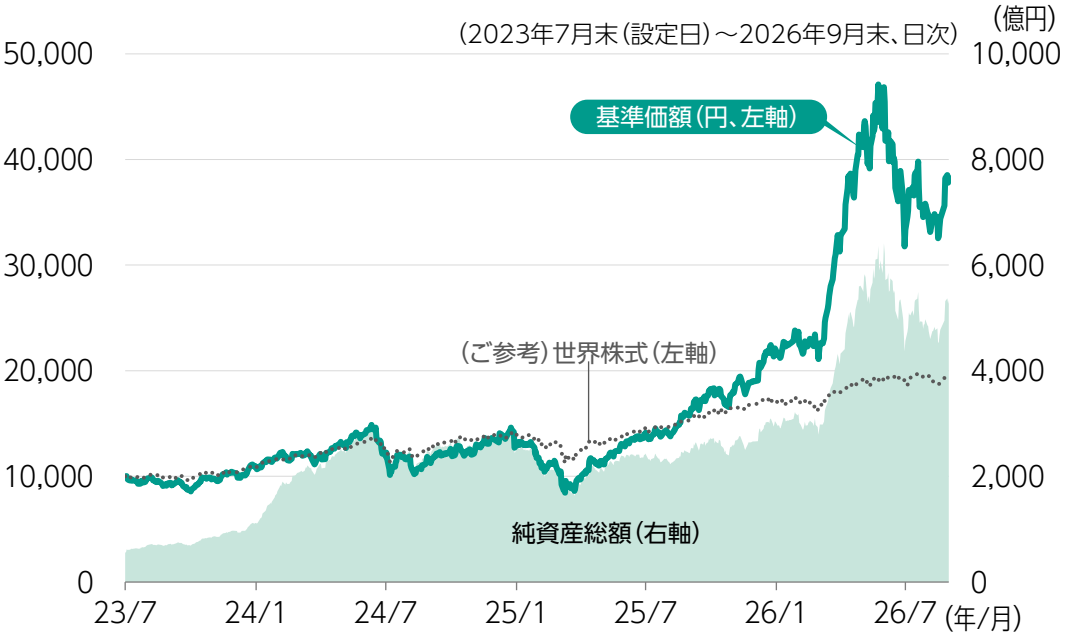
## 当ファンドの足元の運用状況

### 半導体関連企業の株価は7月以降調整したが、成長基調は続く見通し

当四半期（2026年7－9月期）は、世界の株式市場は底堅く推移しましたが、米国半導体関連企業の株価指数であるSOX指数（フィラデルフィア半導体株指数）は11.4%下落しました。7月に、AI（人工知能）投資の持続性やメモリ等の需給悪化への懸念が高まり、一部投資家の行き過ぎたポジション調整を巻き込んで下落したことが主な要因です。その後、堅調な企業業績やAI関連需要の継続が確認されたことで投資家心理が改善し、半導体関連株式は持ち直しつつあります。当ファンドの基準価額は、保有銘柄が利益確定の売りに押され、当四半期は13.9%下落しました。

AIの活用は、個人だけでなく企業でも広がっています。AIモデル開発は安全性を確保しながら継続され、AI投資が持続的に拡大すると見られます。AI投資の収益性や中東情勢の不透明感等への懸念が続く可能性はあるものの、半導体市場全体としては成長基調を維持すると考えています。中長期的には堅調な業績成長が株価を支える展開を見込んでいます。

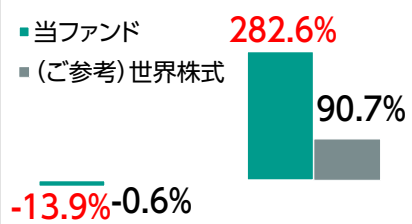
**基準価額および純資産総額の推移**




（2026年9月末現在）

| | |
|---|---|
| 基準価額 | 38,255円 |
| 純資産総額 | 5,336億円 |

**期間別騰落率**




| 3カ月 | 設定来 |
|---|---|
| （2026年6月末～2026年9月末） | （2023年7月末～2026年9月末） |

※基準価額は信託報酬控除後です。
※世界株式は、MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース*）で、当ファンドのベンチマークではありません。また、設定日を10,000として指数化しています。（＊米ドルベース指数を基に当社が独自に円換算）
（出所）Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

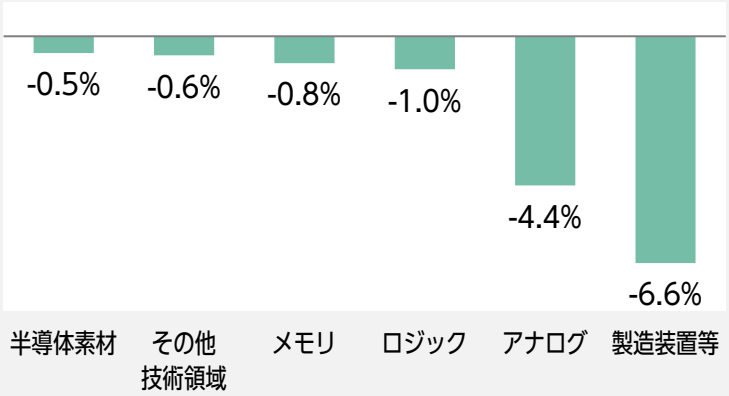
※上記は過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 2026年7－9月のパフォーマンス要因分析と投資行動

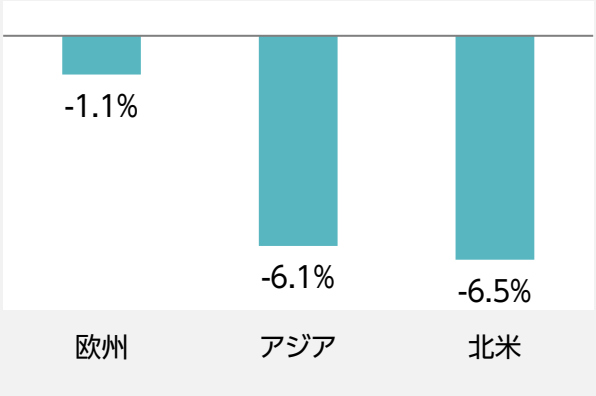
## パフォーマンス要因分析　製造装置等やアナログ領域の下落がマイナスに大きく影響

- 技術領域別では、すべての領域でマイナスの影響となりました。特に製造装置等は、AI投資の持続性や半導体需給への懐疑的な見方の高まりを受けて大きく下落しました。また、アナログは、前四半期に大きく株価が上昇したため利益確定の売りが広がりました。
- 地域別では、すべての地域がマイナスの影響となりました。特に、保有ウェイトが大きい北米と個別銘柄の下落幅が大きかったアジアの寄与度が大きなマイナスとなりました。

**技術領域別騰落率寄与度**




**地域別騰落率寄与度**




## 個別銘柄　幅広い銘柄で前四半期から調整

- 当四半期は、前四半期の大幅上昇から一転して幅広い銘柄が調整しました。特に前四半期までの上昇幅が大きかった企業や、業績等が部分的にでも市場の期待に満たなかった企業は大きく株価が調整しました。銘柄別では、クレド・テクノロジー・グループ・ホールディングの業績は市場予想を上回りましたが、粗利益率の低下等が嫌気されました。STマイクロエレクトロニクス、リガク・ホールディングス等も業績が失望されましたが、いずれもAI向けの需要は強いとの内容でした。
- 一方、インピンジは決算内容が強かったほか、米国大手食品小売業でRFID（電波を用いて非接触でタグのデータを読み取るシステム）導入が本格化しつつあることが明らかになり、RFID市場の長期成長期待から株価が上昇しました。

**パフォーマンスに影響を与えた主な銘柄**

| | 銘柄名 | 技術領域 | 事業概要 |
|---|---|---|---|
| プラス | 米国 インピンジ | アナログ | 商品管理や在庫追跡に使われるRFID分野の世界的リーダー |
| マイナス | 米国 クレド・テクノロジー・グループ・ホールディング | アナログ | AIデータセンター向け高速通信半導体を提供。光通信モジュールやアクティブ電気ケーブル（AEC）の分野に強み |
| マイナス | スイス STマイクロエレクトロニクス | アナログ | 大手半導体メーカー。車載・産業向けに強みを持ち、AIデータセンター向けや衛星向けの需要拡大も恩恵 |
| マイナス | 日本 リガク・ホールディングス | 製造装置等 | X線計測・検査装置大手。先端半導体の成膜・検査工程向け需要拡大の恩恵を享受 |
| マイナス | 米国 MKS | 製造装置等 | 半導体製造向け機器メーカー。成膜・エッチング工程や先端実装需要の拡大が追い風 |

※技術領域はマニュライフ・インベストメント・マネジメント株式会社の基準による分類です。
※上記のパフォーマンス要因分析は、2026年6月29日から2026年9月29日の期間において、当ファンドの主要投資対象ファンド（Manulife Investments Trust - Global Semiconductors Equity Fund - Class I (JPY Unhedged) Units）のパフォーマンスを要因別に分析したものです。
※各項目の騰落率寄与度は、概算値であり実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。あくまで傾向を知るための目安としてご覧ください。端数処理の関係で合計値が合わない場合があります。
（出所）マニュライフ・インベストメント・マネジメント株式会社のデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成
**※上記は特定の有価証券への投資を推奨しているものではありません。また、今後当ファンドが当該有価証券に投資することを保証するものではありません。過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。**

# ご参考 パフォーマンスに影響を与えた主な銘柄

米国

## RFID分野の世界的リーダー
## インピンジ

| 企業タイプ | ニッチトップ企業 |
|---|---|
| 技術領域 | アナログ |

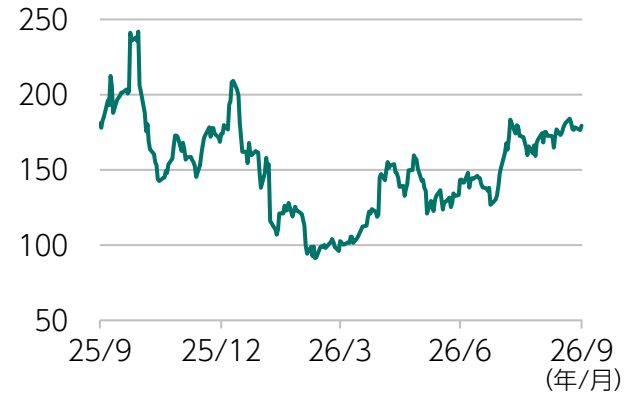
### 企業概要

- RFIDソリューション大手。物流・小売のDX（デジタルトランスフォーメーション）やAI活用を支えるIoT（モノのインターネット）基盤企業

### 投資のポイント

- RFIDの用途がアパレルから食品・物流へ拡大。巨大市場への浸透により中長期的な成長余地が大きい
- 企業の在庫管理や物流効率化需要が拡大。AIも活用したデータ活用の進展が、RFID技術の継続的な需要を支えると見込まれる

株価の推移




米国

## AIデータセンター向け接続ソリューションを提供
## クレド・テクノロジー・グループ・ホールディング

| 企業タイプ | ニッチトップ企業 |
|---|---|
| 技術領域 | アナログ |

### 企業概要

- AIデータセンター向け高速通信半導体を提供。光通信モジュールやアクティブ電気ケーブルの分野に強み

### 投資のポイント

- AIシステムの大型化に伴いGPU（画像処理半導体）間の通信量が急増。高速接続ソリューション需要の拡大が追い風
- 光通信やAECの採用拡大に加え、次世代高速通信への移行が成長を後押しする見込み

株価の推移




スイス

## 車載向けを中心に幅広い半導体を製造
## STマイクロエレクトロニクス

| 企業タイプ | 新世代企業 |
|---|---|
| 技術領域 | アナログ |

### 企業概要

- 車載・産業向けに強みを持ち、AIデータセンター向けや衛星向けの需要拡大も恩恵

### 投資のポイント

- 車載向け半導体の在庫調整が進展
- AIデータセンター向け電源・電力半導体の需要が拡大。AIインフラ投資の裾野拡大による恩恵が期待される
- 低軌道衛星や産業機器向けセンサー需要が拡大。フィジカルAIの普及を支える半導体としての成長も期待できる

株価の推移




※企業タイプおよび技術領域はマニュライフ・インベストメント・マネジメント株式会社の基準による分類。株価の推移は、2025年9月末～2026年9月末、日次
（出所）マニュライフ・インベストメント・マネジメント株式会社、各種資料、Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

**※上記は特定の有価証券への投資を推奨しているものではありません。また、今後当ファンドが当該有価証券に投資することを保証するものではありません。過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。**

# 今後の市場見通しと運用方針

## AIモデルの安全性：安全性強化は新たな半導体需要を生み出す可能性

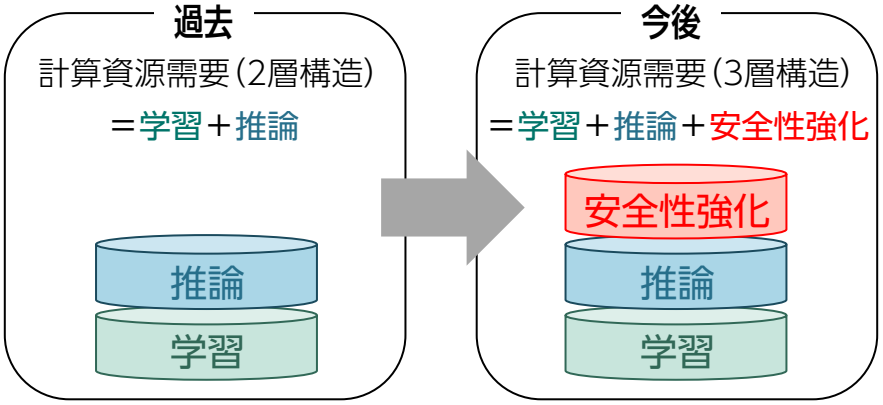
AIモデルが制御不能となって暴走する等の安全性についての懸念は、これまでも人々の関心を集めていました。9月の中旬にはAI開発企業から、AIの安全対策を優先するため開発の減速を求める声が相次ぎ、その懸念が改めて高まりました。AIモデルの安全性確保は、モデル開発の必要条件と言えます。そこで今回は、AIモデルの安全性の強化がもたらす影響について検証します。

AIモデルの安全性を高めるには、モデル開発を止めたり減速したりするだけでなく、モデルの挙動監視や危険な出力の検知等を多様な環境で反復試験することが必要です。

これらは追加的な計算資源、すなわち半導体を必要とします。米OpenAIによると、安全性監視には監視対象となる推論計算量の約20%に相当する追加負荷が必要になるとのことです。エヌビディアのジェンスン・フアンCEOは、今後は大規模な安全性試験・環境検証のために、「学習」や「推論」に加えて「第三のシステム」が必要になるとの見方を示しています。

AI企業自身にも安全性を高める強いインセンティブがあります。メタ・プラットフォームズのマーク・ザッカーバーグCEOは、信頼性と人間の倫理観や価値観に沿って安全に作動することは、今後、モデルの差別化ポイントになると述べています。信頼性、制御可能性はAIサービスの競争力そのものになりそうです。

このように考えると、安全性の強化はAI開発を止めるのではなく、AI開発を継続するための条件になり、そのための計算資源需要が生まれるとまとめることができそうです。




※上記はイメージ図です。

## アナログや製造装置等、ロジック領域を中心に投資を継続

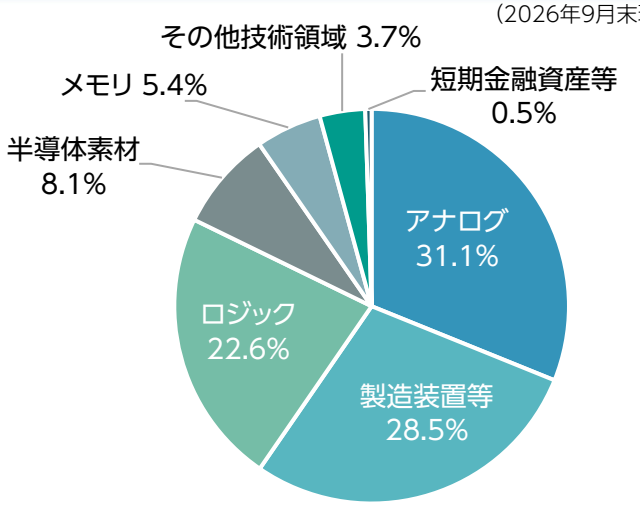
上記の通り、AIのモデル開発は安全性に配慮して行われ、AI投資とそれに伴う半導体需要の伸びは今後も継続すると考えられます。当ファンドではアナログ、製造装置等、ロジック領域を中心とする投資を継続します。

アナログ領域では、AIデータセンターの内外で使われる高速接続用の半導体の需要が大きく伸びると見込まれます。また、電力制御用パワー半導体もデータセンター向け需要が急拡大しており、注目すべき成長領域です。

引き続き、半導体産業特有の技術領域別動向、企業ファンダメンタルズ、バリュエーション（割高・割安を評価する指標）を精査した銘柄選択を実施していく方針です。

### 技術領域別構成比率

（2026年9月末現在）




※マニュライフ・インベストメント・マネジメント株式会社の基準による分類
※構成比率は主要投資対象ファンドベース、対純資産総額比。また、端数処理の関係で合計値が100%とならない場合があります。

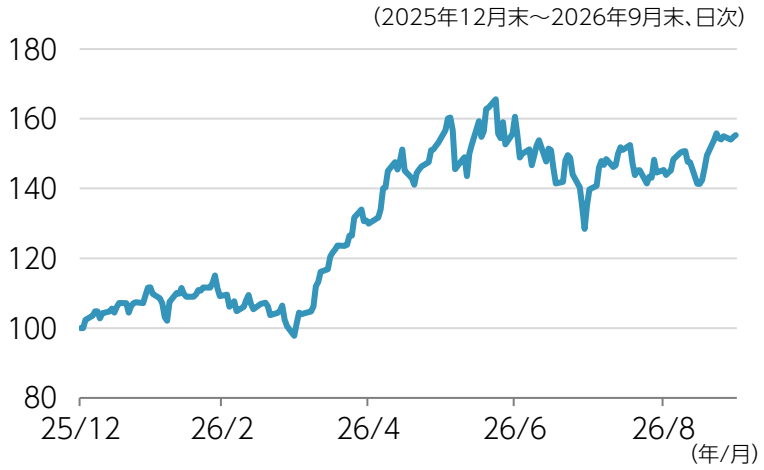
※上記は特定の有価証券への投資を推奨しているものではありません。また、今後当ファンドが当該有価証券に投資することを保証するものではありません。過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# これまでの半導体市況とこれからの見通し

## 高値警戒感から、様々な要因が重なり調整局面に

2026年4月以降、上値を拡大していた半導体関連株式ですが、7月にはこれまでの急騰を受けた高値警戒感のなか、様々な要因で価格調整が進みました。

### 半導体関連株式の推移




※半導体関連株式は、MSCIオール・カントリー・ワールド・半導体・半導体製造装置インデックス（配当込み、米ドルベース）で、グラフの起点を100として指数化しています。
（出所）Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

株価調整時に話題となった要因として、次の点が挙げられます。

- レバレッジ型の単一銘柄ETF（上場投資信託）の過剰なポジションの調整
- AI特化ヘッジファンドの破綻に伴う急速なポジションの調整
- 中国企業による半導体供給拡大に伴う需給悪化懸念
- AI開発・投資の持続可能性や減速への懸念

ここで重要なのは、これらのほとんどはテクニカルなものや憶測に基づくものが多く挙げられている点です。他方、7月以降のAI関連や半導体関連企業の業績発表では、AI投資の持続性や半導体の力強い需要の拡大が確認されています。

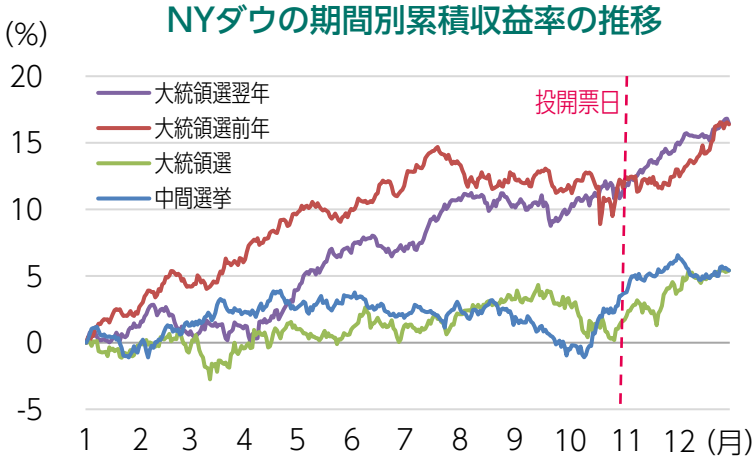
## 不透明感の先にある上昇トレンドと、今後の注目ポイント

足元、半導体関連株式市場は様々な要因が重なったことで先行き不透明感が高まりました。様々な材料によって振幅を繰り返すものの、今後の注目ポイントなどの重要イベントを通じ力強い需要と業績成長が再確認された場合、半導体関連株式は中長期的な上昇トレンドに回帰すると考えています。

今後の注目ポイントとして、以下が挙げられます。

- 政治のイベント消化が進むこと。過去の傾向を見ると、米中間選挙後の市場は落ち着きを取り戻すケースが多い
- 金利の上昇にかかわらず、経済成長の底堅さが維持されるかが焦点
- AI投資・半導体需要の拡大期待。10月中旬より米ハイパースケーラー（大規模クラウド事業者）の決算発表が本格化。AI投資の継続性や収益化が確認できる点で大変重要なイベント

### NYダウの期間別累積収益率の推移




※1986年～2026年（2026年は9月末まで）の各日の日次騰落率を、米国大統領選挙の前年・実施年・翌年・中間選挙年ごとに同一日付で単純平均し、その平均日次騰落率を使用して年初を起点とした累積収益率の推移（日次）を示したもの。
※投開票日は、2026年の投開票日（11月3日）。
（出所）Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

### 決算発表日（予定含む）

| 企業 | 発表日 |
|---|---|
| スペースX | 2026年10月20日 |
| メタ・プラットフォームズ | 2026年10月21日 |
| マイクロソフト | 2026年10月28日 |
| アルファベット（グーグル） | 2026年10月28日 |
| アマゾン・ドット・コム | 2026年10月30日 |
| アップル | 2026年11月2日 |
| エヌビディア | 2026年11月19日 |

（出所）各種資料、Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

**※上記は特定の有価証券への投資を推奨しているものではありません。また、今後当ファンドが当該有価証券に投資することを保証するものではありません。過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。**

## ファンドの投資リスク

**ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、全て投資者の皆様に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。**

**株価変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、特定の業種に特化した運用に係るリスク、カントリーリスク、流動性リスク、金利変動リスク**

※基準価額の変動要因はこれらに限定されるものではありません。

### ▼その他の留意点

●分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
●ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
●ファンドは、大量の換金申込が発生し短期間で換金代金を手当てする必要が生じた場合や組入資産の主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止、取り消しとなる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。

**ご購入の際は、必ず投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。**

## お申込みメモ

| | |
|---|---|
| 信託期間 | 無期限（2023年7月31日設定） |
| 決算日 | 毎年7月7日（休業日の場合は翌営業日） |
| 収益分配 | 年1回、毎決算時に分配金額を決定します。<br>分配金額については、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配を行わないことがあります。<br>※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 |
| 購入単位 | 販売会社が個別に定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。 |
| 購入価額 | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。 |
| 換金単位 | 販売会社が個別に定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。 |
| 換金価額 | 換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。 |
| 換金代金 | 原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。 |
| 申込締切時間 | 原則として、販売会社の営業日の午後3時半までにお申込みが行われ、販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日のお申込受付分とします。なお、販売会社によっては対応が異なる場合がありますので、詳しくは販売会社にお問い合わせください。 |
| 購入・換金申込受付不可日 | 申込日当日が次のいずれかの場合は、購入・換金のお申込みを受け付けないものとします。<br>（休業日については、委託会社または販売会社にお問い合わせください。）<br>・ニューヨーク証券取引所の休業日　・ニューヨークの銀行休業日<br>・申込日当日から起算して6営業日までの期間中に、上記の休業日が2営業日以上ある場合 |
| 課税関係 | 課税上は株式投資信託として取り扱われます。<br>公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。<br>※上記は、2026年7月31日現在のものです。税法が改正された場合等には、変更される場合があります。 |

## ファンドの費用

### ▼お客様が直接的にご負担いただく費用

| | |
|---|---|
| 購入時手数料 | 購入価額に販売会社が個別に定める手数料率を乗じて得た額とします。<br>**（上限3.3%（税抜3.0%））** |
| 信託財産留保額 | **ありません。** |

### ▼お客様が間接的にご負担いただく費用

| | |
|---|---|
| 実質的な運用管理費用（信託報酬） | 純資産総額に対して**年率1.728%以内（税抜1.63%以内）**<br>当ファンドは他のファンドを投資対象としています。したがって、当ファンドの運用管理費用（年率1.166%以内（税抜1.06%以内））に当ファンドの投資対象ファンドの運用管理費用（年率0.65%以内）を加えた、お客様が実質的に負担する運用管理費用を算出しています。ただし、この値は目安であり、投資対象ファンドの実際の組入れ状況等により変動します。 |
| その他の費用・手数料 | 有価証券の売買・保管、信託事務に係る諸費用等をその都度、監査費用等を日々、ファンドが負担します。この他、投資対象とする投資信託証券においては、当該投資信託証券の信託報酬とは別に、投資信託財産に関する租税や、投資信託の運営・運用等に要する諸費用が発生します。これらの費用は、運用状況等により変動するなどの理由により、事前に料率、上限額等を示すことができません。 |

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

## 委託会社およびファンドの関係法人

■ 委 託 会 社：三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社［ファンドの運用の指図］
ホームページアドレス https://www.smtam.jp/
フリーダイヤル 0120-668001（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

■ 受 託 会 社：三井住友信託銀行株式会社［ファンドの財産の保管および管理］

■ 販 売 会 社：当ファンドの販売会社については下記の【販売会社一覧】をご覧ください。
［募集・販売の取扱い、目論見書・運用報告書の交付等］

## 販売会社一覧

| 商号等 | | 登録番号 | 加入協会 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 日本証券業協会 | 一般社団法人資産運用業協会 | 一般社団法人金融先物取引業協会 | 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 |
| おかやま信用金庫 | 登録金融機関 | 中国財務局長（登金）第19号 | ○ | | | |
| 株式会社香川銀行 | 登録金融機関 | 四国財務局長（登金）第7号 | ○ | | | |
| 株式会社十六銀行 | 登録金融機関 | 東海財務局長（登金）第7号 | ○ | | ○ | |
| 株式会社常陽銀行（委託金融商品取引業者めぶき証券株式会社） | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第45号 | ○ | | ○ | |
| 株式会社仙台銀行 | 登録金融機関 | 東北財務局長（登金）第16号 | ○ | | | |
| 株式会社大東銀行 | 登録金融機関 | 東北財務局長（登金）第17号 | ○ | | | |
| 株式会社東京スター銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第579号 | ○ | | ○ | |
| 株式会社名古屋銀行*1 | 登録金融機関 | 東海財務局長（登金）第19号 | ○ | | | |
| 株式会社三井住友銀行（委託金融商品取引業者SMBC日興証券株式会社） | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第54号 | ○ | | ○ | ○ |
| 株式会社三菱UFJ銀行*1 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第5号 | ○ | | ○ | ○ |
| アイザワ証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第3283号 | ○ | ○ | | ○ |
| あかつき証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第67号 | ○ | ○ | | |
| 岩井コスモ証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 近畿財務局長（金商）第15号 | ○ | ○ | ○ | |
| SMBC日興証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第2251号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 株式会社SBI証券 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第44号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| OKB証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 東海財務局長（金商）第191号 | ○ | | | |
| 木村証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 東海財務局長（金商）第6号 | ○ | | | |
| 極東証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第65号 | ○ | | | ○ |
| 株式会社スマートプラス*2 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第3031号 | ○ | ○ | | ○ |
| 第四北越証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第128号 | ○ | | | |
| 大和証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第108号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 松井証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第164号 | ○ | | ○ | |
| マネックス証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第165号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 丸八証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 東海財務局長（金商）第20号 | ○ | | | |
| 三菱UFJ eスマート証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第61号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| めぶき証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第1771号 | ○ | | | |
| 楽天証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第195号 | ○ | ○ | ○ | ○ |

＊1：ネット専用のお取扱いとなります。　＊2：一部の金融商品仲介業者経由での対面販売のみのお取扱いとなります。
※上記は2026年10月19日現在の情報であり、販売会社は今後変更となる場合があります。

**【 ご留意事項 】**

- 当資料はマニュライフ・インベストメント・マネジメントの情報を基に三井住友トラスト・アセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクを伴います。）に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により運用方針等が変更される場合があります。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

◆設定・運用は

三井住友トラスト・アセットマネジメント

商　　号　三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第347号
加 入 協 会　一般社団法人資産運用業協会

SMTAM投信関連情報サービス

お客様が指定されたファンドに関する情報（基準価額、レポート）や投資に関するコラム等をLINEでお知らせします。

※LINEご利用設定は、お客様のご判断でお願いします。
※サービスのご利用にあたっては、あらかじめ「SMTAM投信関連情報サービス利用規約」をご確認ください。